

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》 幸村 近 浅香正博（学長） 吉田 繁 松尾淳司 田中真樹 中野倫仁（心） 小島 悟（リハ）
福井純子（看） 黒澤隆夫

【概 要】

医学、医療に携わる幅広い職種のプロフェッショナルが共有すべき知識を包括的に学ぶことを目標とする。医療のシステムとして、医療サービス提供体制、医療保険制度について理解する。また患者を中心として多職種が連携するチーム医療の在り方や、様々な分野での健康増進事業について、本学が有する各学部の役割を含めて学習する。さらに医学医療の辿ってきた歴史を踏まえ、現代社会における医療倫理や先端医療技術への発達、さらに未来に向けての課題や展望を考察する。

【学習目標】

- 1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけるために、現代社会における医療倫理、先端医療技術について学ぶ。
- 2) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療を実践するための専門性と協調性を身につけるために、各医療関係職種の業務の内容と多職種連携の実際を知る。
- 3) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題の発見と、解決に向けた科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけるために、医学、医療全体の歴史を知り、あわせて将来的展望を考察する。
- 4) 日本の医療制度、医療の現状について説明できる。
- 5) 医療における臨床検査の役割について説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	医学、医療とは？ 医療システム	・医学・医療の定義、発展の歴史 ・さまざまな医療関係職種とチーム医療の概要 ・保健医療サービスの提供体制 教科書：第1章-1・2	幸村 近
2	我が国の医療の現状	・我が国の医療の現状 キーワード：日本の医療、米国の医療、チーム医療、多職種連携	浅香正博
3	がんはどこまで予防できるのか？	・がんはどこまで予防できるのか？ キーワード：タバコ、肺がん、ピロリ菌、胃がん、一次予防	浅香正博
4	日本の医療制度	・医療保険制度や医療政策の現状 ・医療と経済 ・在宅ケア、高齢者ケア 教科書：第1章-3・4・5・6・7	幸村 近
5	患者中心の医療と医療倫理	・患者中心の医療を実践するために必要な方策 ・医療従事者に必要な倫理の基本を理解する 教科書：第4章-1・2・3・4・5	幸村 近
6	ゲノム医学	・今後発展が期待される分野の一つとしてゲノム医学の現状と展望を理解する 教科書：第2章-2、第3章-6	吉田 繁
7	感染症	・近代医学・医療の発展の歴史と感染症の関わりについて学ぶ 教科書：第3章-1	松尾淳司
8	歯学分野	・現代医療における歯学の役割 教科書：第1章-6	田中真樹
9	心理科学分野	・高齢者の精神保健と臨床心理学 教科書：第2章-3・4	中野倫仁
10	リハビリテーション科学分野	・リハビリテーションとは何か ・リハビリテーションに携わるさまざまな専門職種の役割 教科書：第2章-5・6	小島 悟

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
11	看護福祉学分野	1) 看護学と看護職の役割： 医療関係職としての連携の観点から看護学と看護職の役割について理解する 2) 医療安全と医療従事者の責務： 対象者に安全な医療を提供するための考え方と医療従事者として果たすべき責務について理解する教科書：第1章-10	福井純子
12	薬学分野「薬とからだ」	・薬はからだの中でどのように効果を表すか ・薬はからだのなかでどのような消長をとるのか ・それらを知るにはどのような知識と技術が必要となるか（臨床検査との関連）	黒澤隆夫
13	救急医療・災害医療	救急医療・災害医療の現状について学ぶ 教科書：第1章-8・9	幸村 近
14	ヘルスプロモーション・予防医学	健康の定義を知り、それを支援する方法や疾病予防の対策について学ぶ 教科書：第2章-1・2	幸村 近
15	医療における臨床検査（課題提出）	・医学・医療における臨床検査の役割について考える。これまでの講義で学んだことを基に、レポートを提出する。	幸村 近

【評価方法】

課題レポート 100%

- ・授業の内容と感想コメントをA4用紙1枚（800～1400字程度）にまとめ、次回の授業までに提出する。
- ・最終回終了後に提示された課題についてレポートを作成し提出する。

【備考】

教科書：千代豪昭 他 編集 「学生のための医療概論 第3版増補版」 医学書院 2012年

その他：クリッカーを使用した双方向対話型教育を行う。
アクティブ・ラーニングとして第15回にはグループワークを行う。

【学習の準備】

予習：教科書の関連する部分をあらかじめ読んでおくこと。または、記載されたキーワードについて調べておくこと。（40分）
復習（評価方法にも記載）：授業の内容と感想コメントをA4用紙1枚（800～1400字程度）にまとめる。（120分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。
（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

幸村近（医師）、浅香正博（医師）、吉田繁（臨床検査技師）、松尾淳司（臨床検査技師）、田中真樹（歯科医師）、中野倫仁（医師）、小島悟（理学療法士）、福井純子（看護師）、黒澤隆夫（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、医学・医療における各専門領域の重要性や具体的な実践について講義する。